

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット

情報公開の方法  以下のURLで公開する  倫理委員会のホームページで公開を希望

URL

承認番号	4098
研究課題名	胃静脈瘤に対して5%E0Iにゼラチンスポンジ細片を混和して行ったB-RT0についての後方視的研究
研究の意義・目的	硬化剤として使われるオルダミンは、血管内皮細胞障害に引き続き血栓化を引き起こし静脈瘤を硬化する特徴を有する。胃静脈瘤に対しても使用されており、利点としては再発率が低い事が挙げられる。一方で欠点としては液体であるが故、側副排水路から硬化剤が流出する事による全身循環への流出、使用量増加があげらる。側副路が多い場合にはコイル塞栓やゼラチンスポンジでの塞栓、オルダミンのstepwise injection(段階的注入)といった側副路を塞栓する工夫を行った上で治療を行うが、それでも硬化剤の全身への流出は起こりうる。今回我々は、オルダミンにゼラチン細片を混ぜる(同時注入)事で手技を簡潔化させ、かつ再発を少なくできる可能性があるかどうかについて検討を行う。これらは臨床的に非常に有用である可能性があり、今後の治療法に大きな影響を与える可能性がある。
研究期間	承認後 ~ 2019年12月31日
研究対象者の範囲	2013年1月1日から2017年12月31日の間に大阪市立大学医学部附属病院放射線科で胃静脈瘤に対してB-RT0を施行された患者様が対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	診療記録、CT画像、血管造影画像
利用者の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみ <input type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する <input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける <input type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である <input checked="" type="checkbox"/> 研究成果を公表する
研究機関の情報	該当なし
代表施設のURL	該当なし
研究成果を公表する方法	学会発表や論文にて公表予定である
試料・情報の提供方法	該当なし
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学医学部大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 山本 晃
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	山本 晃 大阪市立大学医学部大学院医学研究科放射線診断学・IVR学 講師 大阪 市阿倍野区旭町1-4-3 電話：06-6645-3831 FAX：06-6646-6655